

浅利 誠

日本思想と日本語

—コプラなき日本語の述語制言語

**日本語には命題形式も繫辞（コプラ）も主語もない！！
欧米とは構文構造がまったく違う！**

「ある」と「である」を混同した論理学と文法論の誤りに見られるよう、「ある」は動詞ではない形容詞である（否定形は「ない」）。西田哲学や本居宣長を基盤にして、佐久間鼎、三上章の文法理論を綿密に批判継承し、間違っている国文法の根拠を明晰に論証した画期的な論述。この「～ている」は進行形ではない（「財布が落ちている」）。「は」と格助詞8つ（が、を、の、に、で、へ、から、まで）を明晰に確定。浅利助詞論は、日本でもっとも厳密で明解な考察である。日本語の本質をうき立たせ、パリでの日本語教育の経験をもって、世界言語の水準で論じるも、日本人なら自分が語っている日本語を知ること！主語がない、と言っているだけではもうすまされない！！



320 ページ 新書版型。
定価 2970 円 (本体 2700 円+ 10% 税)
ISBN 978-4- 924671-77-5
C0010

受注切月 7月 14日

■ 2023年8月3日に取次搬入(トーハン、日販、楽天より) いたします。

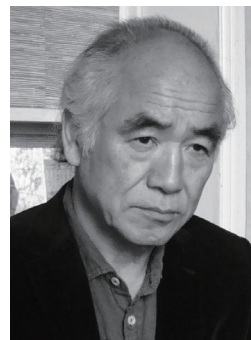
■ 受注切後も、電子メールでのお問い合わせ、ご発注も受け付けております。

honyasan_order@chinoshinsho.com
tel:03-3580-7784(知の新書担当宛へ)

浅利 誠 (あさりまこと)

日本語、哲学研究者。

1948年青森県生まれ。元ボルドー・モンテーニュ大学言語・文化学部名誉教授。早稲田大学哲学科修士課程修了。新ソルボンヌ大学フランス文学科博士課程修了。(仏) 国立東洋言語・文化研究院日本学科講師・准教授(1984-2008年)。ボルドー・モンテーニュ大学言語・文化学部教授(2008-2014年)。著書に『日本語と日本思想』(藤原書店、2008年)、『非対称の文法』(文化科学高等研究院出版局、2017年)。共訳書にフィリップ・ラクー＝ラバルト『政治という虚構』(藤原書店、1992年)。柄谷行人「世界史の構造」を仏訳刊行。学術文50点以上。



受領印	文化科学高等研究院出版局 tel.03-3580-7784 fax.050-3383-4106	ご注文数
	<p>日本思想と日本語 —コプラなき日本語の述語制言語</p> <p>浅利 誠 定価 2970 円</p> <p>ISBN 978-4- 924671-77-5 C0010 ¥2700</p>	冊
	電話番号	—
	FAX	—
	ご担当者様名	

知の新書・受注 FAX : 050-3383-4106 までご注文お待ちしております。

メール : honyasans_order@chinoshinsho.com